

令和5年度 社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会 事業計画

基本方針

令和5年度は、地域共生社会の実現に向けて瀬戸市の地域福祉計画と一体的に策定した本会の活動指針である地域福祉活動計画（平成30年～令和8年）に基づき、引き続き、当計画の基本理念である「気づき、よりそい、手をつなぐ 私たちのまち せと」のまちづくりを目指し、4つの重点施策を踏まえた重点事業を継続して取り組みます。加えて、アフターコロナを見据え、本会が非営利の民間組織として住民主体の地域福祉を推進する中核的な役割を将来にわたって発揮していくために、経営資源の安定確保と効率的・効果的な運用に注力しつつ、福祉拠点であるやすらぎ会館のハード・ソフト両面から安定的な経営管理に取り組みます。

事業運営にあたっては、本会の自主事業、市・県受託事業及び補助事業並びに介護保険事業等、これらの有機的な連携を図り、瀬戸市をはじめ、自治会、地区社協、民生委員児童委員、ボランティア活動団体、医療・介護・保健・福祉の関係者・団体、民間企業及び関係行政機関との連携、協力、協働を基軸として進めます。また、個別支援と地域支援の両輪による地域福祉を推進する力量を蓄積するとともに、地域における包括的な支援体制の一翼を担うべく事業に取り組みます。

また、地域コミュニティの希薄化の進行が危惧されるなか、人と人の様々なつながりや交流、助けあい・支えあい活動の必要性とその重要性を多様な主体と共有しつつ、合わせて国際社会が目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現や共通目標を同軸に捉えて事業活動に取り組みます。

これらの活動や取り組みの状況を広く地域社会に理解と共感が得られるよう広報宣伝及び情報発信に注力するとともに、本会が地域福祉を推進する極めて公共性・公益性の高い法人として期待と信頼に応えられるよう、安定した経営及び組織運営に取り組みます。

地域福祉活動計画		
重点施策	重点事業	
1 誰もが集える居場所づくり	<p>地域のコミュニティを維持することができるように身近な地域で、誰もが集まることができる居場所づくりを進め、顔の見える地域づくりを目指します。</p>	<p>・地域の居場所推進事業～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進</p> <p>歩いて行くことができる身近な地域の居場所の開設を働きかけ、「よりどころ」として設置・認定を行い、「よりどころ」を拠点とし、住民同士が気軽にふれあい支えあうことができるまちづくりの推進に取り組みます。</p> <p>○共同募金配分事業(590千円)</p>
		<p>・地区社協企画事業の推進</p> <p>地区社協による高齢者や子育て世帯を中心としたサロン活動の立ち上げや継続への支援のほか、地域団体等が協働して行う福祉活動の推奨等、顔の見える地域づくりや居場所づくりに取り組みます。</p> <p>○共同募金配分事業(1,000千円)</p>
2 地域で活躍できる支えあいの人づくり	<p>地域ごとの課題に対応できる環境を整え、地域において、すべての住民が「担い手」となり、お互いに支えあえる関係を築き、いつまでも住み慣れた地域の中で生活できるまちを目指します。</p>	<p>・ボランティア活動の促進</p> <p>ボランティアセンターの機能強化を図り、時代や地域に求められるボランティアの育成に取り組みます。</p> <p>○ボランティアセンター活動事業(1,000千円)</p>
		<p>・災害ボランティアセンターの体制整備</p> <p>災害ボランティアコーディネーターの養成をはじめ、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を通じて、市や地域の関係諸団体との連携を強化・推進し、平時から大規模災害の被災地支援に即応できるよう災害ボランティアセンターの体制整備に取り組みます。</p> <p>○ボランティアセンター活動事業(229千円)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉パートナーシップ事業者認定制度の推進 地域の一員である民間事業者等が持ち合わせるノウハウ等を活かして取り組む地域貢献活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、連携・協働の関係を構築し、多様な主体が支えあう地域社会づくりに取り組みます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域支えあい会議（地域懇談会）の開催 様々な地域の福祉課題に対して「地域支えあい会議」を開催し、課題の解決に取り組みます。
<p>3 相談できる・つながる仕組みづくり</p>	<p>地域住民の気づきの声を受け、市や様々な機関・団体と連携し、住民を支える相談体制を築き、相談できる・つながる地域づくりを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの深化・推進 基幹型地域包括支援センター及び市内の地域包括支援センターと本会の地域担当職員や生活支援コーディネーターが連携を図るとともに、民間企業、関係行政機関等との有機的な連携を強化するなど、住民を支える相談体制を構築し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組みます。 <p>○やすらぎ地域包括支援センター事業(39,929千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮世帯への支援 経済的な理由等により、生活に困窮する世帯に対して資金の貸付、奨学金支給や食料支援等を行い、地域福祉の増進に取り組みます。 <p>○資金貸付事業(1,041千円) ○福祉奨学金支給事業4,305千円</p>

4 支えあいの心をはぐくむ環境づくり	<p>地域の中での声かけや交流等、支えあいの心を持つ機会づくりに努め、身近な住民同士での助けあいが日常的に行われる地域づくりを目指します。</p>	<p>・地域担当制の実践強化</p> <p>市内7か所の地域包括支援センター単位に地域担当職員や生活支援コーディネーターを配置し、地域にある福祉課題の掘り起こしとその解決に向け、地域住民への意識啓発とともに地域福祉活動の推進に取り組みます。</p> <p>○法人運営事業（14,500千円）</p>
		<p>・子どもから大人までの福祉教育の実践</p> <p>市内の小中学校等の児童・生徒に対して社会福祉に関する実践活動等の機会を確保するための福祉教育推進校事業の促進、誰もが学べる福祉実践教室・出前講座を実施し、支えあいの心をはぐくむ環境づくりに取り組みます。</p> <p>○ボランティアセンター活動事業(564千円)</p>

アフターコロナを見据えた重点事業	
<p>生活福祉資金に関する相談支援や食料支援の実施、市委託事業の緊急生活支援事業等、セーフティネット機能の体制を維持します。</p> <p>○資金貸付事業 8,614千円 ○共同募金配分事業(40千円) ○法人運営事業（750千円）</p>	
<p>福祉保健センター運営管理はじめ、市の指定管理業務の遂行にあたり、福祉拠点として本会の唯一性を発揮しつつ、ボランティア関係諸団体等との連携・協働を基軸とした効果的な運営に取り組みます。</p> <p>○瀬戸市福祉保健センター事業 105,910千円</p>	
<p>持続可能で安定した法人経営及び組織運営に向けた取り組みとして、事務・業務の見える化を進め、業務改善や働き方改革につながるDX（デジタル・トランスフォーメーション）に取り組みます。また、各種事業の訴求性や有効性等を点検し、必要な見直しに取り組みます。</p>	

※()はサービス区分計上予算の内数額

1 法人運営事業

【令和4年度 84,154千円 令和5年度 70,717千円】

(1)法人運営事業

1	役員会等の運営	内容	法人の業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監査会、評議員の選任・解任を行う評議員選任・解任委員会を開催する。				
2	会員募集	内容	地域福祉の推進を目的として、本会の事業や活動に賛同いただける会員（一般、法人、施設）の増加を図り、その会費を地域福祉活動の財源とする。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			9,320件	8,744件	8,094件	→	一般会員 (年1,000円以上)
			159法人	253法人	228法人*	↗	法人会員 (年3,000円以上) *12月末現在
21施設	20施設	20施設	→	施設会員 (年2,000円以上)			
3	経理事務	内容	会計帳簿の作成・整理及び保管、予算・決算、事業計画及び事業報告の策定、資産及び負債の管理等、法人の支払資金収支状況、経営及び財務の状態を把握し、適切な経理事務を行う。				
4	労務管理	内容	職員の勤怠を管理して給与支給事務を行う。また、健康保険等各種社会保険の手続きを行い、福利厚生を増進に努める。安全衛生及び健康管理として、定期的に健康診断を実施し、職員の健康保持及び良好な職場環境の維持を図る。				
5	ふくし出前講座の実施	内容	職員が「よりどころ」や地区社協等の会合に出向き、福祉に関する様々な情報や知識についての講座を実施する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			3件	8件	16件*	↗	*12月末現在
6	地域担当制の実践	内容	7地域包括支援センター単位に地域担当職員を配置し、地域にある福祉課題の把握及び解決に向け、地域住民とともに地域福祉活動を推進する。また、実践するにあたり職員間の情報共有のため地域担当連絡会を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			11回	12回	9回*	↗	地域担当連絡会開催数 *12月末現在

7	職員研修	内容	職員の資質向上及び業務上の必要性に応じて、外部の実施する研修等への積極的な参加を図る。また、内部の研修計画を立案して実施するなど、計画的に職員研修を実施し、人材の育成を図る。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	17回	15回	9回*	↑	研修等実施数 *12月末現在

(2)団体事務運営事業

1	各種団体の運営補助	内容	6つの団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の運営に必要な事務局業務を実施する。				
---	-----------	----	---	--	--	--	--

(3)生活支援コーディネーター配置業務

1	地域の社会資源の把握及び開発	内容	地域における生活支援サービスに関連する資源の把握及び開発を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	82件	137件	110件*	↑	社会資源の把握及び開発延 件数 *12月末現在
2	担い手養成講座の実施	内容	身近な地域での支えあい広がるように地域住民が集える開放的な居場所を実施する担い手の養成講座を実施する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	1回	1回	0回*	↑	*12月末現在 3月開催予定
3	地域支えあい会議 (地域懇談会)の開催	内容	地域課題に応じた事業の取り組みにつなげるため、地域の関係機関の協力を得て、会議を開催する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	中止	1回	0回*	↑	*12月末現在
4	地域担当職員との連携	内容	7地域包括支援センター単位に配置された地域担当職員と緊密に連携し、社会資源等の情報共有及び～わがまち「よりどころ」プロジェクト～等の推進を行う。				
5	～わがまち「よりどころ」プロジェクト～の推進	内容	誰もが集える居場所づくりのため、地域住民や団体に働きかけを行い、歩いて行くことができる身近な地域の居場所を「よりどころ」として認定し、顔の見える地域づくりを目指す。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	44か所	46か所	46か所*	↑	*12月末現在

6	地域福祉パートナーシップ事業者認定制度（新規）	内容	民間事業者等が地域貢献として取り組む活動と地域に顕在する身近な福祉課題等とのマッチングを通じ、地域福祉パートナーシップ事業者として連携・協働の関係を構築し、地域福祉の推進へとつなげる。（令和4年5月より実施）				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	—	—	3事業者*	↑	認定事業者数 *12月末現在

(4)緊急生活支援業務

1	新型コロナウイルス感染症対策緊急生活支援業務の実施	内容	新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者として自宅待機となり、生活に必要な食料品や日用品等の調達が困難な方の依頼に応じて、買い物代行及びパルスオキシメータ貸出の支援を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	30件	114件	94件*	→	生活支援延件数 *12月末現在

2 瀬戸市福祉保健センター事業

【令和4年度 102,224千円 令和5年度 105,910千円】

(1)福祉保健センター管理事業

1	瀬戸市福祉保健センターの管理・経営	内容	指定管理制度により、福祉保健センター（やすらぎ会館）の指定を受けて、管理・経営を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	2,460件 (36,444人)	2,395件 (30,451人)	2,690件* (38,862人)	↑	会館利用延件数及び延人数 *12月末現在

(2)身体障害者福祉センター運営事業

1	瀬戸市身体障害者福祉センターの運営	内容	障がい者に対し、社会参加のために必要な教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行うなど、各種サービスの提供を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	中止	2講座 (20人)	1講座 (11人)	↑	開催講座数及び参加延人数
2	やすらぎマルシェの開催	内容	障がい者就労施設等の利用者の就労体験及び会館利用者との交流を目的として、毎週水曜日・木曜日に施設の製品等をやすらぎ会館で販売する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	中止	中止	24施設*	↑	参加延施設数 *12月末現在

3	福祉夏まつりの開催	内容	会館利用者やボランティア団体及び市民の交流を図る。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			中止	中止	348人*	↑	参加人数 *秋まつりとして ふくしボランティアフェス ティバルと同時開催
4	福祉お楽しみ交流会 の開催	内容	高齢者や障がい者に新年のお楽しみの機会として開催する。また、福祉教室や会館利用者による作品展示を行う。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			作品展示の み	作品展示及び 体験講座 139人	演芸会、作品 展及び体験講 座	↑	参加人数

(3)老人福祉センター運営事業

1	瀬戸市老人福祉セン ターの運営	内容	60歳以上の方や障がい者に対して、交流の場、健康増進のための入浴サービス・機能回復訓練、生活や健康の相談を行う。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			54件 (851人)	113件 (1,807人)	24件* (386人)	↑	団体利用件数及び利用延人数 *12月末現在
		3,577人	6,107人	7,932人*	↑	入浴等利用延人数 *12月末現在	
2	高齢者及び障がい者 向けの各種教室の開 催	内容	60歳以上の方や障がい者に対して、ニーズに合わせた教養の向上及び趣味と仲間づくり、生きがいづくりの場を提供することを目的とした講座を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			中止	8講座 (214人)	10講座 (210人)	↑	開催講座数及び参加延人数

(4)プレイルーム事業

1	瀬戸市プレイルーム の運営	内容	親子の集える場の提供、子育ての相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、子育て支援に関する講習の実施等、地域子育て支援拠点の機能及び児童館機能を有する拠点の一つとして、子育て支援と児童の健全育成を推進する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			198回 (2,427人)	250回 (3,403人)	221回* (3,827人)	↑	開催回数及び利用延人数 *12月末現在

2	育児講座・教室の開催	内容	保護者の育児意識を高め、乳幼児の健全な発達を促すことができるようにするための育児講座、小学生の健全育成を目的とする教室、親子で興味が持てる内容の講座等を開催する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	9回 (110人)	44回 (462人)	69回* (876人)	↑	開催講座数及び参加延人数 *12月末現在

3 助成事業

【令和4年度 8,167千円 令和5年度 7,713千円】

1	地区社協への助成金 支給	内容	地域住民から寄せられる一般会費の9割を地域福祉推進の主体である地区社協へ運営支援として配分金を支給する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	9,013千円	8,506千円	8,017千円	→	配分金合計額

4 福祉奨学金支給事業

【令和4年度 4,481千円 令和5年度 4,305千円】

1	福祉奨学金支給事業	内容	経済的理由により高等学校またはこれと同程度の学校における修学に難を抱える市県民税非課税世帯の生徒に対し、奨学金年額1万円を支給する。福祉奨学金入学準備費支給へ移行するため令和5年度末に廃止予定。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	9人	5人	5人	→	支給人数
2	福祉奨学金入学準備 費支給事業	内容	経済的な理由により就学に難を抱える就学予定者の世帯に対し、福祉奨学金入学準備費2万円を支給する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	161人	139人	81人*	→	*12月末現在 2月に後期実施予定

5 共同募金配分事業

【令和4年度 16,830千円 令和5年度 14,267千円】

(1)老人福祉活動、障害児・者福祉活動、児童・青少年福祉活動、ボランティア活動育成事業

1	社会福祉団体への助成金の交付	内容	市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付する。 (助成先：瀬戸市老人クラブ連合会、瀬戸市身体障害者福祉協会、瀬戸おもちゃ図書館「クレヨン」、手をつなぐ親の会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市少年センター運営協議会、瀬戸スカウト協議会)				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	455,000円	455,000円	459,709円	→	交付合計額
2	瀬戸おもちゃ図書館「クレヨン」の運営	内容	障がい児や小学生以下の子もたちが、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるよう支援する。また、障がい児関係者及び子育て支援関係団体へおもちゃの貸出をする。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	中止	15日 19人	32日* 164人*	↗	開催日数及び利用者数 *12月末現在
		6個	19個	0個	↗	おもちゃの貸出数	

(2)福祉育成・援助活動

1	身近な地域の居場所「よりどころ」への支援	内容	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを進めることを目的として、身近な地域の居場所「よりどころ」に対し、設置・運営に必要な費用の一部を助成する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	15か所 (198千円)	11か所 (155千円)	15か所* (206千円)	↗	助成件数及び助成額 *12月末現在
2	地区社協企画事業の推進	内容	地域福祉推進のために地区社協が取り組む事業等の企画立案に向けた研修会の開催や助言及び事業費助成を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	24件 533,070円	2件 88,563円	2件 76,592円*	↗	助成合計額 *12月末現在
3	地区社協子育てサロンの拡充	内容	子育てサロン未実施の地域に、新たな子育てサロンの立ち上げのための働きかけを行う。また、既存の子育てサロンの運営等に対して相談・助言を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	10地区	10地区	10地区	↗	相談・助言地区数

4	せとっちエール便の実施	内容	市内子ども食堂開設の先導的な役割を終え、様々な事情から食べ物に困っている方に、フードドライブ等により集められた食料品を配布し、食料品を通じてエール(励まし)をつなげる支援(フードパントリー)として「せとっちエール便」を継続実施する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			1,321 個	971 個	131 個	→	フードドライブ
38 件	160 件	103 件*	→	エール便配布件数 *12 月末現在			
5	広報啓発活動	内容	本会の事業等を分かりやすく説明し、市民との情報共有及び市民の福祉への理解・参画を促進するため、社協だよりを発行する。また、ホームページやSNS等を活用し、幅広い世代に向けた広報啓発活動を行う。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			4 回	4 回	4 回	→	社協だより発行回数
6	社会福祉大会の開催	内容	瀬戸市及び瀬戸市共同募金委員会と共催で、社会福祉の増進に寄与し、功績が顕著なもの顕彰を行う。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			8 団体 10 人	2 団体 11 人	3 団体 27 人	→	市長感謝
			1 団体 21 人	2 団体 9 人	7 人	→	社協会長表彰
			1 団体 20 人	1 団体 32 人	1 団体 66 人	→	社協会長感謝
14 人	14 人	14 人	→	赤い羽根作品			
7	社会福祉団体への助成金の交付	内容	市内の社会福祉団体等が実施する社会福祉事業に対して助成金を交付する。 (助成先：瀬戸市更生保護女性会、社会を明るくする運動瀬戸市推進委員会、人権擁護委員瀬戸地区委員会、瀬戸市民生委員児童委員協議会)				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
195 千円	195 千円	195 千円	→	交付合計額			
8	民間保育所への支援	内容	児童福祉の向上を図ることを目的として、市内の民間保育所の園児に還元できる事業のための配分金を交付する。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
7 施設 (154,500 円)	7 施設 (161,000 円)	8 施設 (181,000 円)	→	配分先保育所数及び配分金 合計額			

(3)歳末たすけあい募金配分金

1	歳末たすけあい募金 配分事業	内容	新たな年を迎える時期に支援が必要な人に対し、必要とするサービスを支給するための券を交付し、日常生活の便宜を図り、その人及び家族の福祉の増進を図る。				
		実績値 及び 目標等	R2 1,595件	R3 1,676件	R4 1,621件	R5 →	備考 支給券交付決定件数
2	地区社協歳末たすけ あい事業への支援	内容	地区社協が主催し、各関係団体と共催または協力を得て、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、12月から1月にかけて行う事業を支援する。				
		実績値 及び 目標等	R2 200万円	R3 200万円	R4 200万円	R5 →	備考 歳末たすけあい配分金合計額
3	福祉クリスマス会の 開催	内容	障がい児とその家族が楽しく行事に参加し交流を深めるため、市内在住の18歳までの障がい児を対象とする福祉クリスマス会を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R2 67件 ^{※1}	R3 40件 ^{※2}	R4 34人	R5 →	備考 ^{※1} DVD配布 ^{※2} ツリー作成 参加者数
4	障がい者施設への支 援	内容	障がい福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に障がい者施設の利用者に還元できる事業のための配分金を交付する。				
		実績値 及び 目標等	R2 21施設 (230,500円)	R3 20施設 (229,000円)	R4 20施設 (242,500円)	R5 →	備考 配分先障がい者施設数及び 配分金合計額
5	母子・父子福祉事業へ の支援	内容	母子福祉の向上を図ることを目的として、新たな年を迎える時期に母子福祉会が行う事業に対して配分金を交付する。				
		実績値 及び 目標等	R2 75千円	R3 75千円	R4 75千円	R5 →	備考 母子福祉会配分金額

6 ボランティアセンター活動事業

【令和4年度 2,264千円 令和5年度 2,520千円】

1	ふくしボランティア フェスティバルの開 催	内容	地域住民が福祉を知り、ボランティアと接する機会及びボランティア同士の相互理解を目的として開催する。				
		実績値 及び 目標等	R2 中止	R3 118人 [※]	R4 348人 [※] (再掲)	R5 ↗	備考 参加延人数 [※] 縮小開催

2	ボランティア相談の実施	内容	ボランティア活動を希望する方やボランティア活動を依頼したい団体・施設からの相談等に対応するため、ボランティア相談を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	48件	56件	20件*	↑	*12月末現在
3	ボランティア活動への支援	内容	ボランティア保険の加入やボランティアセンターへの登録の推奨を行い、ボランティア活動に安心して取り組めるよう支援する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	2,184人	2,057人	1,923人*	↑	保険登録者数 *12月末現在
		及び目標等	85団体 (1,634人)	77団体 (1,433人)	77団体* (1,406人)	↑	団体登録数及び人数 *12月末現在
及び目標等	13人	13人	12人*	↑	個人登録数 *12月末現在		
4	ボランティア団体への支援	内容	ボランティアセンターの登録団体が行う地域福祉ボランティア活動について助成金を交付することで活動を支援し、市民福祉の向上を図る。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	18件 (796,567円)	18件 (983,948円)	19件 (999,994円*)	→	交付件数及び合計金額 *予定額
5	ボランティア講座の開催	内容	ボランティアを身近に感じてもらうため、また、ボランティアの啓発や担い手の確保のため、市民等に対して講座や説明会を開催する。 (福祉実践教室説明会、実践教室サポーター養成講座、こどもふくし体験きゃらばん等)				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	1回	3回	2回	↑	講座等開催回数 *12月末現在
6	ボランティアコーディネーターの育成及び活動促進	内容	ボランティアコーディネーター養成研修の受講修了者等とともにボランティアサロン等を開催し、ボランティアの育成・活動促進を図る。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	1回15人	5回184人	8回466人*	↑	ボランティアサロン開催回数及び参加延人数 *12月末現在
7	ボランティアセンター運営委員会の開催	内容	ボランティアセンターの運営及び事業について福祉団体関係者からなる運営委員より意見・助言を仰ぎ、整備・充実を図る。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	3回	3回	3回	→	運営委員会開催回数

8	福祉実践教室の開催	内容	市内の児童・生徒を対象に、障がいや高齢など地域の福祉や生活課題に気づき、「豊かな人間性」や「ともに生きる力」を育むことを目的に、福祉実践教室を開催する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	49回 (1,496人)	57回 (1,910人)	65回* (2,236人)	↗	実施回数及び参加者数 *12月末現在
9	福祉教育推進校事業の実施	内容	福祉教育推進校の委嘱を通じ、市内の小学校・中学校・高等学校及び専門学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、思いやりと助けあいの心を育み、地域福祉活動やボランティア活動への参加の促進をつなげることを目的に、社会福祉に関する実践学習の機会を確保し、福祉教育を推進する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び 目標等	6校	4校	2校	↗	要綱見直しにより、R4は2校、R5から7校を委嘱予定
10	災害ボランティアセンターの体制整備	内容	大規模災害時に被災地・被災者支援を目的に立ち上げる災害ボランティアセンターの運営に向けて、コーディネーターの養成、実践的な立ち上げ訓練を行う。また、東尾張地域における局地災害発生時に東尾張ブロック内の社会福祉協議会間で救援活動を相互応援するための体制構築を図る。				
		実績値 及び 目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			19人 (120人)	14人 (129人)	21人 (149人)	↗	災害ボランティアコーディネーター養成講座受講者数及び登録者数
			中止	1回	1回	→	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
			2回	1回	1回*	→	東尾張ブロック災害救援連絡会議への出席 *12月末現在
			中止	中止	1回	→	東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練への参加

2	心配ごと相談員の資質向上	内容	心配ごと相談員に対して、相談支援の資質向上のための研修会を開催する。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			中止	中止	0回*	→	開催数及び参加者数 *12月末現在 2月に開催予定
3	法律相談の実施	内容	毎月第1～4木曜日の午前9時～正午(祝日を除く)に、法律相談員(弁護士)により、市民からの法律に関する相談、助言等を行う。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			38回196件	45回247件	33回183件*	→	開設数及び相談件数 *12月末現在

10 福祉基金運営事業

【令和4年度 1,600千円 令和5年度 2,751千円】

1	福祉基金の設置及び管理	内容	社会福祉活動推進のために積み立てた基金の収益金を、市社協が行う事業に要する費用に充てる。				
2	さんあい福祉基金の運営	内容	さんあい福祉活動の推進のために設置した基金の運用益を、障がい福祉、母子福祉、高齢者福祉、その他地域福祉に必要な事業を行う各種福祉団体へ配分する。				

11 やすらぎ介護支援事業 (せと地域福祉サービスセンター)

【令和4年度 12,596千円 令和5年度 12,453千円】

1	ケアプランの作成	内容	せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者に対して介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成する。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			91人	73人	81人*	↗	利用者数 *12月末現在
			1,014件	984件	691件*	↗	ケアプラン作成延件数 *12月末現在

12 地域活動支援センター事業（やすらぎ地域活動支援センター）

【令和4年度 9,996千円 令和5年度 8,185千円】

1	地域生活支援事業の実施	内容	創作的活動、機能訓練、社会適応訓練、レクリエーション等を通して、障がい者の自立の促進、生活の質の向上等を図ることを目的に事業を実施する。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
			29人	24人	21人*	↑	利用登録者数 *12月末現在
1,602人	1,493人	983人*	↑	利用延人数 *12月末現在			

13 やすらぎ地域包括支援センター事業

【令和4年度 61,645千円 令和5年度 68,244千円】

(1) 包括的支援事業（やすらぎ地域包括支援センター）

1	総合相談支援業務	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行う。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
115件	397件		267件*	↑	高齢者実態把握件数 *12月末現在		
2	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	内容	包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
45件	71件		115件*	↑	支援件数 *12月末現在		
3	認知症総合支援事業	内容	認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護等のネットワークを活用しながら早期診断・早期対応に向けた地域支援体制を構築することを目的とした認知症総合支援事業を実施する。				
		実績値及び目標等	R2	R3	R4	R5	備考
17件	13件		3件*	↑	認知症初期集中支援延件数 *12月末現在		

4	地域ケア会議の実施	内容	包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のため、医療、介護等の専門職をはじめ、民生委員、自治会長、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア等地域の多様な関係者により構成される地域ケア会議を開催する。				
		実績値 及び 目標等	R2 2回	R3 1回	R4 0回*	R5 ↑	備考 *12月末現在 3月開催予定
5	一般介護予防事業	内容	介護予防普及啓発事業として介護予防教室(口腔)を、地域介護予防活動支援事業として地域はつらつ講座を地域住民に対して実施する。				
		実績値 及び 目標等	R2 中止	R3 中止	R4 0回*	R5 ↑	備考 介護予防教室(口腔) *12月末現在
		実績値 及び 目標等	R2 1回	R3 0回	R4 1回*	R5 ↑	備考 地域はつらつ講座 *12月末現在
6	任意事業	内容	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする方を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを目指すため、認知症サポーター養成講座を地域住民や地域の企業等に対して実施する。				
		実績値 及び 目標等	R2 2回	R3 1回	R4 0回*	R5 ↑	備考 *12月末現在 1月開催予定

(2)指定介護予防支援事業

1	介護予防ケアプラン等の作成	内容	やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に対して介護保険サービスを利用するための介護予防ケアプランを作成する。				
		実績値 及び 目標等	R2 1,944件	R3 1,991件	R4 1,680件*	R5 ↑	備考 介護予防ケアプラン作成延 件数 *12月末現在

(3)基幹型包括支援センター事業 (瀬戸市基幹型地域包括支援センター)

1	地域ケア会議の運営	内容	地域ケア会議の考え方や実施手法を整理し取りまとめ、地域型センターが開催する地域ケア会議を支援する。				
		実績値 及び 目標等	R2 8回	R3 7回	R4 0回*	R5 ↑	備考 *12月末現在 1月以降開催 予定

2	認知症総合支援事業	内容	認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう関係機関との連絡体制や相談支援体制の構築を図る。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	211件	412件	304件*	→	相談延件数 *12月末現在
3	資質向上及び研修等の実施	内容	地域包括支援センター職員、ケアマネジャーの資質向上を図るための研修会や市民等を対象とした研修会及び認知症に関する研修会等を開催する。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	6回	7回	20回*	→	*12月末現在
4	相談支援	内容	高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	927件	1,415件	926件*	→	相談延件数 *12月末現在

(4)やすらぎ障がい者相談支援センター事業

1	基本相談支援	内容	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等や瀬戸市障がい者相談支援センター等の関係機関につなぐ同行（伴走）支援を行うこと及び必要な援助等を行うことにより、障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する。（令和4年5月より開設）				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	—	—	428件*	↑	相談延件数 *5月～12月末現在

14 介護保険訪問調査事業

【令和4年度 36,629千円 令和5年度 36,767千円】

1	介護保険訪問調査の実施	内容	瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査を行う。				
		実績値	R2	R3	R4	R5	備考
		及び目標等	1,948件	2,914件	1,985件*	→	*12月末現在

15 その他の支援事業

(1)瀬戸市共同募金委員会

1	瀬戸市共同募金委員会への支援	内容	市内区域の共同募金運動の推進にあたり、瀬戸市共同募金委員会の管理・運営や募金運動等を支援する。
---	----------------	----	---

(2)日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区

1	日本赤十字社愛知県支部瀬戸市地区への支援	内容	活動資金の募集、災害見舞金及び物資の支給、災害義援金等の受付、災害救護及び訓練の実施等について支援する。
---	----------------------	----	--